

## 1 試験内容

苫前町では、近年の海洋環境の変化による水産資源の減少や安定供給への懸念から、現在のホタテ養殖ふ頭（第3港区）の静穏水域を有効活用し、蓄養事業により新たな生産活動の場として利活用することを目指しています。対象魚種として、ウニ、タコ、ナマコ、コンブを想定していますが、ウニ、タコを対象として令和5年度より蓄養実証事業を行っています。

令和6年度についても、引き続きウニ、タコの蓄養試験を実施するほか、新たにウニの餌料用コンブの養殖試験を留萌地区水産技術指導所、北るもい漁協、漁業者の協力のもと実施するとともに、コンブについては、港内におけるブルーカーボン対策としても有効となり得るものであることから、留萌管内ブルーカーボン推進検討協議会（留萌振興局水産課）と共同で試験を実施することとしています。

また、本港内においては、ICTブイを設置しているのので、水温、D0のデータを活用しながら試験を実施したいと考えています。

